

## 改善提案委員会より

管理部  
大田英之取締役



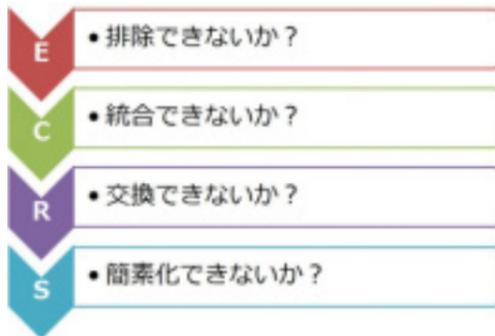
いつも改善提案活動にご協力頂き、有難うございます。  
現場の皆様お一人、お一人の心のこもったサービスがわが社の根幹であり、その現場作業・環境における「改善」は、非常に大切なことだと考えております。

今回は、「ECRS」の4原則と言われる改善手法について、ご紹介したいと思います。「ECRS」とは、

- 排除 (Eliminate) : 業務をなくすことができないか?
- 結合 (Combine) : 業務を1つにまとめられないか?
- 交換 (Rearrange) : 業務の順序や場所などを入れ替えることで、効率が向上しないか?

簡素化 (Simplify) : 業務をより単純にできないか? の頭文字を並べたものです。

一般には、「ECRS」によって得られる改善の効果は、高い順にE→C→R→Sとなり、適切な優先順位での改善内容を検討・実施することで、より効果的な業務改善を実践することができます。



「ECRS」の手法が引き算の改善と言われるのは、上記の通り、「なくす」「省く」「まとめる」等の現状の業務負担を減らす事を目的としているからです。

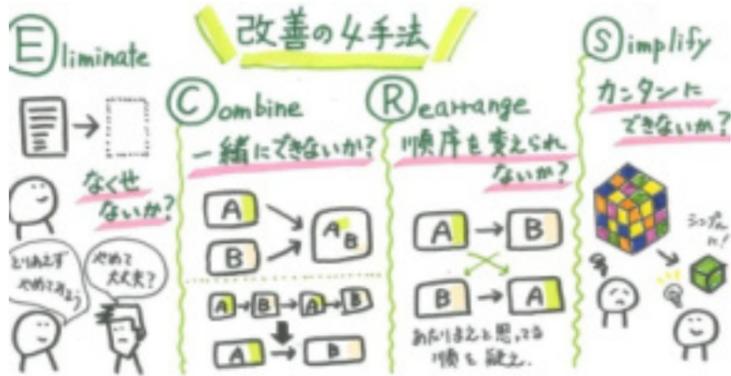
作業が知らず知らずのうちに色んなモノが加わって（背負って）いませんか?

業務負担の大きいモノになっていませんか?

その手順は必ず必要ですか?

今一度、皆さんの作業を見直してみても如何でしょうか?

今後も、ONE TEAMとなり、また「四方良し」となるご提案をお待ちしております。



## 総務部より

総務部  
藤原克行取締役



令和4年4月1日より、管理部管理2課（業務班）に河合聖哉さんがピカピカの新卒の新入社員として入社しました。

出身校の学校様とは3年ほど前にご縁を頂き、ビルメンテナンスの仕事に興味を持った生徒さんをインターンシップで受け入れています。

仕事を体験してもらい、卒業後ご自身の就職の選択肢のひとつになればとの思いで取り組んでいます。

2年前入社した松藤さんに引き続き、河合さんが二人目となります。



河合さんは、身長が187cm細身の長身で、遠くからでもすぐわかります。

また温厚な性格で、しっかり相手の目を見て会話ができ、人との協調性を大切に考えている方です。ご家庭・学校での教育・指導のたまものだと思われま。

これから、ひとつずつ仕事を覚え、たくさんの人と接し、社会人として経験を積んでいき成長されることを楽しみにしています。

今後、業務班として現場作業に行きますので、もし見かけることがあれば声をかけてあげてください。

## 品質委員会より

品質委員会  
坂本秀人課長



### ピアサービスクリーンスタッフの使命について

「プロとしての誇りを持って」  
わたしたちの使命はピアサービスの清掃スタッフとして誇りを持ってビルを利用する全ての人に快適で安全な空間を提供する事です。

それに加えて真心のこもったサービスもお届けします。仕事の目的を正しく理解して大人の対応で役割を果たしましょう。

「5Sの行き届いた空間」  
整理・整頓・清掃が行き届いた空間は清潔です。そこにスタッフの気持ちの良いマナー（躰）が加わればお客様にとって居心地の良い空間になります。

心地よい環境作り **5S活動** にご協力ください



「プロとしての誇り」  
スタッフ一人一人の言動が会社のイメージを作ります。

「隠れた場所（清掃道具置き場等）も整理整頓」  
整理・整頓・清掃＝清潔

「マナーを身につけてこそプロのクリーンクルー」  
自分の仕事だけに熱中してしまい、周囲を気遣う心を忘れてしまわないように、お客様にも職場の仲間達にも好感を持たれるような仕事を目指しましょう。

## 安全衛生委員会より

営業部  
佐藤克徳常務取締役



### 新型コロナウイルス流行 第7波に突入か?

2022年4月、国内ではオミクロン株による第6波の流行がリバウンドを起こしており、このまま第7波になることが懸念されています。

皆様方におかれましても、すぐ傍まで感染のリスクが迫っていることを肌で感じられていることとお察しいたします。

私たちが提供するビルメンテナンス業務は、社会経済活動に欠かせないエッセンシャルワークとして国に定められています。

日々感染のリスクと向き合いながら、使命感を持って業務に当たられている皆様に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

さて、私たちの管理現場におきましても、残念ながらスタッフ本人の感染はもとより、家族の感染により濃厚接触者となる事例が少数ではありますが発生しております。

また、先日は複数名勤務の現場にて陽性者が発生し、一緒に休憩を取っていた他メンバー6名が1週間出勤出来なくなる事態に発展しました。

ここで改めて何度も繰り返しのお願いとなりますが、皆様自身の身を守るためにも感染予防の基本ルールを徹底していただくとともに、感染防止対策の不十分な環境下での休憩、飲食、喫煙の際は特に細心の注意を払っていただくよう、重ねてお願い申し上げます。

### 感染リスクの高まる5つの場面



2022年4月26日  
ピアサービス株式会社  
取締役社長 山際信幸

コロナ禍、日常が続いている中で日々の業務に励んでいただき、心から感謝いたしております。マスク着用・手洗い・手指消毒といった基本的な感染予防対策を継続して、皆さん、御自愛くださいますよう、宜しくお願い致します。

仕事柄、移動する場合は自動車を使用することが殆どですが、電車等の自身で運転する必要がない移動時には、たくさんの方の文章を読むようにしています。取引先で薦められたものや、普段の生活の中で目や耳に入れたりしながら気になっていたものを、流し込むように読んでいきます。その時は然程には気に留めていなかった内容が、後日に、ふと、「あの人、こんなことを書いていたのだな」と甦ってくるケースが、結構頻繁に起こっている近況です。

最近に甦ってきたものの中から、実業家の西村博之氏が著書の「1%の努力」で記されたり、色々な場面で発言されたりしている言葉や文章を繋いで、ご紹介します。

「優秀な人」なんて、滅多にいない  
社会に好影響を及ぼす発明や発見をするくらいのレベルの優秀な人は、数年にひとり出るかどうかです。大多数の人達は、自分の価値を高め『いかに優秀そうに見えるかどうか』で生きていくしかありません。そうやって生きていく際に邪魔になるのが「自分の価値を下げる言葉」「心のブレーキになる言葉」です。それは、『私なんて……』とか『どうせ自分には……』という口癖です。褒められたときに照れ隠しで『私なんて……』と謙遜するのと、目の前の大きなチャレンジや仕事から逃げるために『私なんて……』と口にするのでは、意味が違ってきます。『謙虚』はいいけど、『言い訳』はするなということです。自分の価値をわざわざ下げようという悪い口癖は使わないほうが良いのではないかと思うのです。

余裕がない人の特徴

- ・まわりの人の行動に「嫉妬」や「イライラ」を感じて気になる  
普通であれば喜べる「まわりの人のうまくいっている行動」なのに、自分の心の中に余裕がないから、「何かずるいことをしたのだろう」「あんなのはたいしたことでない」と思ってしまうのです。
  - ・自分のことが分かっていないから「焦り」に変わる  
自分の中で何が重要なかが分かっていないときは、「焦り」や「不安」が生じて、それが他人への攻撃に向かってしまいます。
- 余裕がなくイライラして消耗するより、自分のことを見直し「何が重要なことか分かっていないのだ」と自ら反省することに時間や労力を費やしたほうが、楽だと思います。

皆さんの中で、自分自身にプラスになるような考え方の材料にしていただければ幸いです。